



Tech Note:  
RAD Server 運用環境  
Windows + Apache httpd への配置

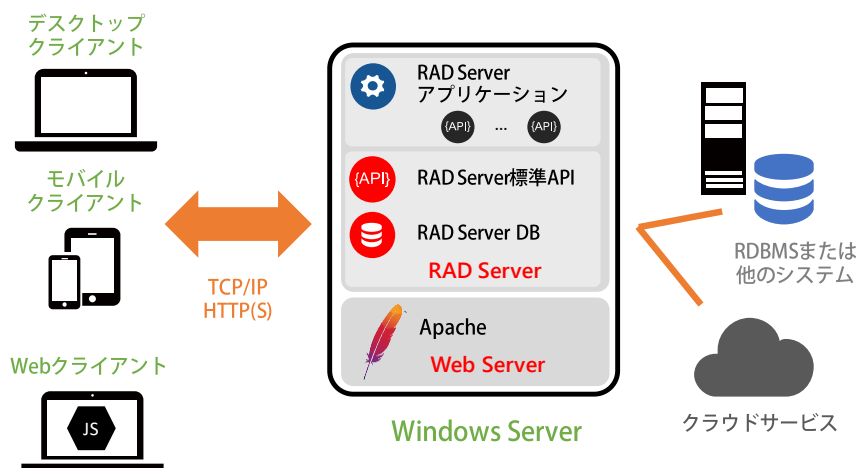
---

2019 年 10 月

エンバカデロ・テクノロジーズ

## はじめに

本書では、RAD Server を Windows + Apache の環境に構築する手順を説明します。ホワイトペーパー「RAD Server 運用環境の構築 - Windows + IIS への配置」に対する差分として解説します。



## RAD Server 配置環境の構築

### Apache httpd のインストール

RAD Server をインストールする Windows 環境には、Apache httpd をあらかじめインストールしておきます。対応しているバージョンは、2.0、2.2、2.4 です。Apache Foundation からは Apache httpd のソースコードだけを配布しており、バイナリパッケージは自分自身でビルドするか、またはサードパーティのバイナリディストリビュータが提供するパッケージを使用します。サードパーティのディストリビュータは Apache Foundation の下記ページで紹介されています。

<https://httpd.apache.org/docs/2.4/platform/windows.html>

本書では、Apache Haus (<https://www.apachehaus.com/>) が提供するバイナリ「Apache 2.4.x OpenSSL 1.1.1 VC15」を用いて、配置環境向けのインストールを行います。Apache Haus の Apache httpd 2.4 バイナリパッケージは、zip 形式のアーカイブで配布されています。

アーカイブに付属する readme\_first.html に記載されたとおり、インストールには以下の 3 つの作業を実施します。

- 実行に必要なランタイム (Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ) をインストールする
- アーカイブに含まれる Apache24 ディレクトリを C:\Apache24 にコピーする

- C:\Apache24\bin\httpd.exe -k install を実行してサービスとしてインストールする

Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージは、マイクロソフトの下記ページで配布されています。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2977003/the-latest-supported-visual-c-downloads>

## RAD Server のインストール

ここでは、RAD Studio / Delphi / C++Builder 10.3.2 以降のバージョンで提供されている RAD Server の配置環境向けインストーラを用いてインストールを行います。RAD Server のインストーラは、GetIt パッケージマネージャ経由でダウンロードしてください。

インストーラが行うインストール作業と設定は、以下のとおりです。

- Apache 向け RAD Server モジュール
- Apache の設定調整
- RAD Server 管理データベース (InterBase)
- RAD Server ライセンスアクティベーション

ここでは、Windows Server (64 ビット) の環境へインストールすることを想定し、以下のインストールのオプションを選択します (推奨)。

### RAD Server モジュールのインストールセットの選択

モジュール名	説明	インストール
RAD Server DB	RAD Server の管理用データベース	必須
RAD Server	RAD Server 実行に必要なバイナリファイル	必須
RAD Server Console	RAD Server のアナリティクス用の管理ツール	(任意)
Swagger UI	REST API の仕様ドキュメントの作成ツール	(任意)

### Windows のアーキテクチャの選択

64Bit を選択

### Web サーバーの選択

Apache を選択

### インストールディレクトリの指定

RAD Server のバイナリー式をインストールするディレクトリを指定。デフォルトでは、C:\RADServer に作成されます。

### Apache の詳細設定

RAD Server の仮想ディレクトリ（アプリケーション）を作成します。デフォルトでは、以下のような構成となります。

```
http(s)://<サーバー名>/radserver  
http(s)://<サーバー名>/radconsole
```

### Apache 設定ファイルの指定

RAD Server の設定を追加する Apache の設定ファイル名を指定します。デフォルトでは、C:\Apache24\conf\httpd.conf に設定を追加します。

上記のインストールオプションを設定した後、最後に [Install] ボタンを押すと、インストールが開始されます。以降のインストール手順は、「RAD Server 運用環境の構築 - Windows + IIS への配置」と同様です。

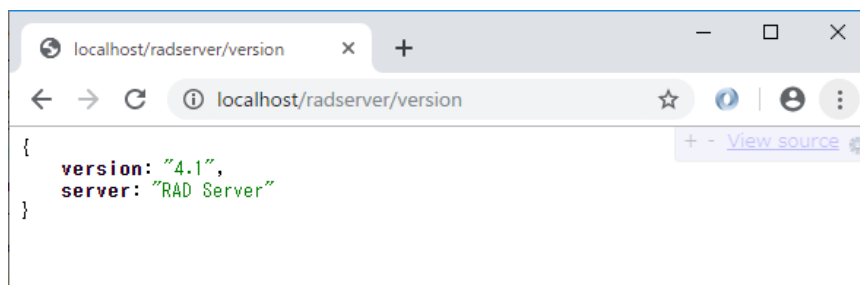
## RAD Server の動作確認

### RAD Server が Apache で正常に動作することを確認する

以下のコマンドを実行し、Apache のプロセスを再起動します。

```
C:\Apache24\bin\httpd.exe -k restart
```

RAD Server の標準 API であるバージョン表示 API (http://[サーバー名]/radserver/version) にアクセスします。RAD Server のバージョン情報が次のように表示されていれば、RAD Server の基本機能は正しく動作しているとみなせます。



RAD Server の構成変更については、ホワイトペーパー「RAD Server 運用環境の構築 - Windows + IIS への配置」をご確認ください。